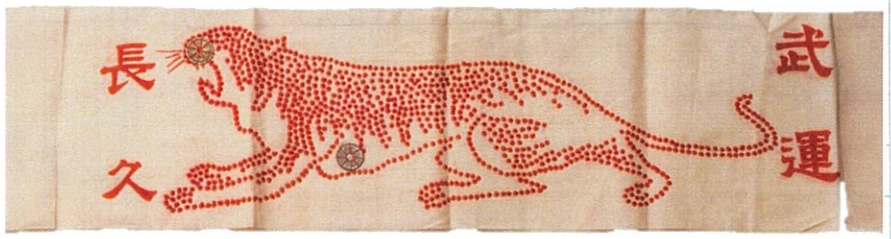
夏休み！
平和祈念新聞
2022年7月16日号〔記者名 ツロ　〕
取材場所　平和祈念展示資料館
東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33F TEL.03-5323-8709

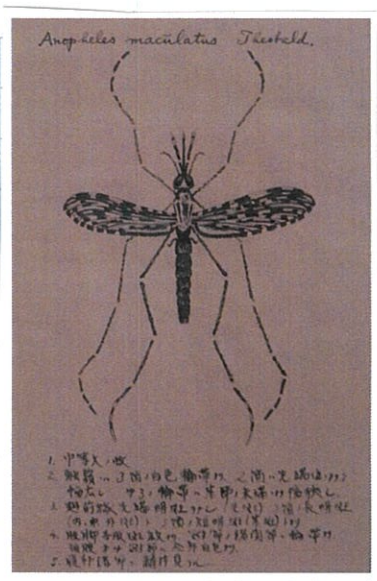
77年前の戦争とどうぶつたちのかかわり

千人針



兵士を
は、千人
玉留をほ
人針をわ
兵士は
とがよい
「生きて
言えませ
虎の絵に
たのびす
えによる
い距離」
のために千里を帰る
「遠い戦地に行って
てほしいミ」虎の絵
の想いが込められて

戦地に行く兵士に想いをたくして…
見おくる家族や友人
の女の人が一針ずつ
どうしたお守りの千
たしました。
「死をおそれないこ
とされていたので、
帰って来てね」とは
んでした。そこで、
ひみつの想いを込め
。中国の古い言い伝
と、「虎は千里（長
を行っても、子ども
レと言われています。
も、生きて帰って来
には、こんなひみつ
ひるのです。



蚊に注意!!
―恐ろしい伝染病―

残しています。この
ろという病気を運ぶ
の国で戦った兵士は
苦しめられたと言い

軍のお医者さん
が蚊の入ケ千を
ハマダラカはマラリ
恐ろしい蚊です。南
、この虫と伝染病に
ます。

鳥になりたい

絵.斎藤邦雄さん

は自由に飛ぶ鳥たち
たちを見て、「日本
って飛んで行きたい

戦争がおわったに
もかかわらず、シベ
りろへ連れて行かれ
た人たち（戦後強制
抑留者）がいました。
抑留者たちは、つら
い仕事とマイナス30
度にもなる寒さに苦
しめられました。ふ
と上をみると、空に
がミ抑留者たちは鳥
に帰りたい、鳥にな
!と思ったのでした。

兵士のろイドル
ハチ物語

日本の兵士が中国
でヒョウの赤ちゃん
をみつけました。赤
ちゃんは「ハチ」と
名付けられ、兵士た
ちのろイドルにな
りました。
やがて、大きく
なったハチは動物
園に引きとられま
したが、ある日、

ハチをだく兵士の写真

人間に殺されてしま
いました。「戦争で
おりがこわれて動物
が逃げるとあぶない
から」という理由で
した。ハチをかわい
がった兵士は、とて
も悲しんだと言います。

かわいい小鳥のワンピース

戦争が終わっても
日本に帰れず、死ん
でしまった幼い赤ち
ゃん。お母さんは、
形見の布おむつを使
ってワンピースを作
りました。赤ちゃん
のお姉さんにこの服
を着せて、一緒に日
本へと帰りました。

新聞を書いた感想

戦争と動物が色々
なところでかかわっ
ていると分かってお
どろきました。また、
記事をわかりやすく
短くまとめるのが、
少しむずかしかった
です。

新聞ギット見本